

天文台発 ぽらりす

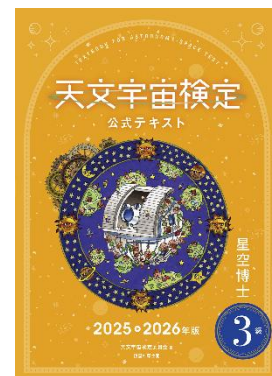
≪2026年6月号/毎月初めに天文台職員が情報発信します≫



天文宇宙検定のススメ

天文宇宙検定とは、天文・宇宙に関する民間の検定試験で2011年に開始されました。星や宇宙の基礎から最新の宇宙探査まで楽しく学びながら4級～1級の級別試験で理解度を測れます。今年は6月と11月に試験が実施されます。受験に年齢制限はなく、会場受験の他、小学生以上ならオンライン受験も可能です。

天文台に来てもっと星のことを知りたくなったけど何から勉強していいかわからない、子供が宇宙に興味を持ち始めた、宇宙が好きで基本的な天文知識はあるがもっと深く知りたい、そんな人にピッタリの検定です。右図の公式テキストは写真が豊富でとても分かりやすいですよ。



(天文宇宙検定委員会 編)

出題内容（天文宇宙検定公式ホームページより）

○4級 星博士ジュニア

小学生が学ぶ程度の天文学知識を基本とし、天体観察や宇宙についての基礎的知識を得たい方を対象

○3級 星空博士

中学生で学ぶ程度の天文学知識を基本とし、星座や暦などの教養を身につけたい方を対象

○2級 銀河博士

高校生が学ぶ程度の天文学知識を基本とし、天文学の歴史や時事問題等を学びたい方を対象

○1級 天文宇宙博士

理工系大学で学ぶ程度の天文知識を基本とし、天文関連時事問題や天文関連の教養力を試したい方を対象

お子様や初めて天文について学ぶ人は4級からの勉強をお勧めします。月の満ち欠けや太陽系の基本情報などを再確認できて楽しいです。3級は中学生で学ぶ程度の天文学知識と書かれていますが、なかなか本格的な内容です。3級の内容を全部理解していれば星について分かりやすく説明できますし、普段夜空を見上げるのも楽しくなると思います。2級になると内容は急に難しくなります。元素周期表や計算も出てくるので、記憶が新しい学生時代に受ける方が有利かもしれません。気合を入れて勉強しないと落ちます。1級は2級合格者の自信と希望を打ち砕くようなレベルです。合格率はわずか1%、過去には合格者0%の年もありました。高校や大学で物理・数学を学んだ人でないと合格は難しいと思いますが、合格に向けて勉強するだけでも素晴らしいと思います。

次回は11月に試験が予定されています。ご興味のある方は、今のうちにテキストを入手されてはいかがでしょうか。(Sunny)

☆6月の夜間公開はありません。

休台日は1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、29(月)です。